こうげ町広報 October 2010 VOL.60

上毛

上毛町誕生5周年

10/11 月曜日 9:20～

記念講演会 げんきの杜

上毛町が誕生して5周年を迎えます。南吉富・西吉富・友枝・唐原の町内4つのコミュニティを拠点として、各地域が持つ魅力の再発見と地域間の交流が進められ、町全体にネットワークの輪が広がってきました。

また、町のシンボルキャラクターのこうげマンや食育推進キャラクターのチェリー&コスミーも誕生し人気を博しています。この表紙はこうげマンの生みの親である絵本製作委員会の皆さんに作っていただきました。

豊かな自然、受け継がれる歴史と文化、それらを織り成す人々。全て上毛町が誇る宝物です。

http://www.town.koge.lg.jp

10

CONTENTS

● 町の掲示板 …… 2
● こうげ文芸 …… 11
● 町の話題 …… 12
● 食を育てる …… 14
● カルチャー …… 15
● 町の情報ひろば …… 16
特集 支えあうまち …… 18
健康で活き活き暮らせるまち

町の花(春) 桜

町の花(秋) コスモス

町の木 梅

●編集・発行／上毛町役場企画情報課
〒871-0992
福岡県築上郡上毛町大字垂水1321-1
TEL 0979(72)3111
FAX 0979(72)4464

●印刷／築上印刷(有)

人の動き

8月31日現在

●人口	8,204 (+21)
●男性	3,902 (+10)
●女性	4,302 (+11)
●世帯数	3,102 (+5)

参考
平成17年10月11日合併時
●人口 8,499
●世帯数 3,057

ごみの量

8月31日現在

●可燃ごみ	140.22t (−0.40t)
●カン・ペットボトル	4.26t (−0.22t)
●びん	6.57t (+0.73t)
●古紙他	19.41t (+1.41t)
●可燃粗大	3.32t (+1.35t)
●不燃	8.39t (+3.12t)
●プラスチック製容器包装	2.37t (+0.49t)
●紙パック、白色トレイ	0.10t (+0.01t)

PRINTED WITH SOY INK
地球に優しい植物性インク(大豆インク)を使っています。

こうげ素敵人

支えあうまち

健康で活き活き暮らせるまち

地域のみんなでつくる健康と福祉の輪。皆さんの健康づくりと暮らしの安心を支えてくださっているお二人を紹介します。

健康の意識づくりで明るいまちに

筒井修一さん(垂水)

こんにちは、筒井歯科医院の筒井修一です。

町で歯科健診や子どものむし歯予防シーラントを実施しています。また、町の健康づくり推進委員としてみなさんの健康づくりについて一緒に考えさせていただいています。

思えば、20年ほど前はむし歯のある子どもがとても多かったです。今ではその3分の1程度まで減っています。何が変わったのでしょうか。それは、歯を大切にするという皆さん一人ひとりの意識だと思います。

例えばむし歯になりやすい6歳臼歯。6歳臼歯は軟らかいため、乳歯と思いこんでしまい、歯磨きを疎かにしてしまうケースが多々あります。そんなとき、歯の磨き方を助言するなど適切なアドバイスができれば、子どもたちは、きれいになった自分の歯をその目で見て、歯のケアは意外と簡単であることや、歯の大切さに気づきます。それだけで意識が変わり、毎日しっかりと歯を磨くようになる子どもは多いものです。ちょっとでも実感することがあれば、健康意識が変わります。そのお手伝いをすることが私の役目ではないかと思っています。

集団健診などでは、子どもの参加は少ない傾向にあります。しかし、この町でむし歯予防シーラントを最初に担当したとき、受診した子どもの多さに驚きました。関心の高さの表れだと思います。むし歯予防シーラントもこの7～8年で定着してきました。

健康づくりの意識が高い家庭は、明るく元気があるように感じます。仮に全体の3分の1の人たちの健康づくりのために行動すれば、その他の3分の1の人たちがそれに倣います。そして3分の2の人がやっていることは、残りの3分の1の人たちも始めようとします。このようにして、健康づくりの意識が広がり、健康で明るいまちづくりに繋がっていってほしいと願っています。

町の医療・福祉の施策には、二本の柱があると思います。ひとつは健診などの予防と、もうひとつは健康づくり。特に、この健康づくりには、どんどん力を入れてほしいと思っています。病気というものは、発症の10年前から健康に対する意識づくりが大切です。歯周病なら40歳、糖尿病であれば早い人で30歳くらい。若い人も自信過剰にならずに、適度の運動と食生活の改善などに目を向けてほしいと思います。

豊かな自然、おいしい野菜、人情味あふれる地域の人、上毛町はとても環境の良いところだと思います。この「良い環境と健康づくりの意識」がマッチするよう、私も頑張っていきたいと思います。

地域の福祉を支える縁の下の力持ち

矢野キミ子さん(八ツ並)

八ツ並地区の福祉委員を15年務めさせていただいております。

高齢者の見守り事業では見守り役を、また、敬老のつどいやふれあい食事会などでは、地域のお年寄りの方々への連絡、取りまとめ役など、陰ながら皆さんのお役に立てればと思い、活動を続けてきました。

思うようにお年寄りのお世話ができず大変なこともありましたが、困っている人がいれば、とにかく自分の知っていることは何でも教えてあげたいという気持ちをずっと持っています。熱中症の方の対応をしたとき、自分に分からないことがあって、直々にお医者さんに教えてもらおうと病院に駆けつけたこともありました。

これまでたくさんの地域内の方とふれあう機会をいただき、頑張ってきて良かったなと思っています。何よりも、活動を通していろんなところに友だちができたことが一番です。

一人暮らしのおじいちゃんが「またきてね」と言って笑って送り出してくれるとき、通りすがりに私を見つけてくれたおばあちゃんが手を振ってくれているとき、成長した子どもたちが「おばちゃん、久しぶりっ」と声をかけてくれるときなどは本当にうれしく思います。

私も今年、敬老会の仲間入りをしました。しかし、たとえ何歳になっても、これまで活動してきたこの地域で皆さんとふれあいながら、地域福祉のため、私はできることをできるだけやっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

■上毛町社会福祉協議会の方が矢野さんの人柄についてお話してくれました。

一言で言えば、縁の下の力持ち。地域の相談役であり、行政や社協とのパイプ役です。また、長年、無償のボランティアも続けておられます。

地域内の困っている人の情報をしっかりと伝えるべき窓口に的確に伝え、反対に行政サービスの情報などを地域の人に伝えてくださっています。

高齢者だけではなく、地域全体のお世話が上手な、気配り・目配りが本当に行き届いた方です。

その人柄からか、地域の皆さんからとても頼りにされていて、日常生活に関するさまざまな相談を持ちかけられているようです。いつも笑顔が素敵な矢野さん。その笑顔からは、矢野さんの優しさが溢れ出しています。

矢野さん、いつもありがとうございます。これからも元気に頑張ってください。

編集後記

こんにちは。企画情報課の森重了一です。

秋雨前線が通りすぎ、途端に町もすっかり秋めいてきました。

これから秋本番。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、さまざまな言葉が冠されるこの季節、みなさんもそれぞれ気持ちが高揚しているのではないでしょうか。

さて、9月は敬老のつどいがありました。町には満100歳以上の長寿の方が6名います。つどいには、そのうち3名の方が元気に参加されていました。

年々、一人暮らしのお年寄りや、老人のみの世帯が増えているようです。今進めている空き家の調査でも、「この前まではおじいちゃんが一人でおったのに…」というケースが少なくありません。そんな一人暮らしのお年寄りの方々に、元気に長生きしてもらえるようにするにはどうすればいいのか…。考えさせられます。

町は、社協と連携して、ひとり暮らしの高齢者等を対象に、見守りネットワークをつくっています。その第一線で活躍する福祉委員さんは、「自分にできることがあれば、できることをずっと続けていきたい」と話してくれました。こういった方の気持ちがお年寄りの方に生き甲斐を与えてくださっているのではないでしょうか。

大切なことは一人ひとりの思いやり。そして、お年寄りを地域が一体となって見守っていこうという人情のネットワークを築くことが必要だということ。

少し前に、世間を騒がせていた「所在不明高齢者問題」。上毛町では、敬老のつどいのような行事を始め、日頃からの地域みなさんのお年寄りに対する声がけや何気ない気づかいのおかげで、お年寄りの安否の確認ができているようです。

お年寄りが安心して暮らせるように、「見守り隊」の輪が広がっています。取材した福祉委員の矢野さんのあたたかさには頭が下がる思いでした。